

## 『脊椎内視鏡センター』開設のご案内



腰椎疾患の外科的治療は、多くの場合、痛みを取り除き、生活の質を改善させる目的で行われます。

しかし、体にメスを入れる治療には不安を抱く方が多いのではないのでしょうか。体への負担を減らし、傷が小さく痛みの少ない脊椎の内視鏡治療は急速に進歩しています。

関節の治療で用いられている関節鏡と呼ばれる内視鏡は、胃カメラなどで使用される柔らかい内視鏡とは異なり、金属でできた硬性鏡（硬い内視鏡）を使用し、**還流液で還流しながら水中での内視鏡治療**となります。これを応用した脊椎の内視鏡治療は20年程前に開発され、器具や技術の進歩とともに海外では急速に普及しており、国内でも徐々に広まりつつあります。

当科では2012年より**全内視鏡下脊椎手術**（FESS）を開始し400例以上の治療実績を有しています。

当センターでは、腰椎椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症の患者さんへの脊椎内視鏡治療（FESS）を専門に扱います。FESSを検討されている方はご相談ください。

[→FESSとは](#) 

誠馨会千葉メディカルセンター 整形外科・脊椎外科部長

日本整形外科学会脊椎脊髄病医

脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医

日整会認定脊椎内視鏡下手術・技術認定医（3種・経皮的内視下脊椎手技）

平山 次郎